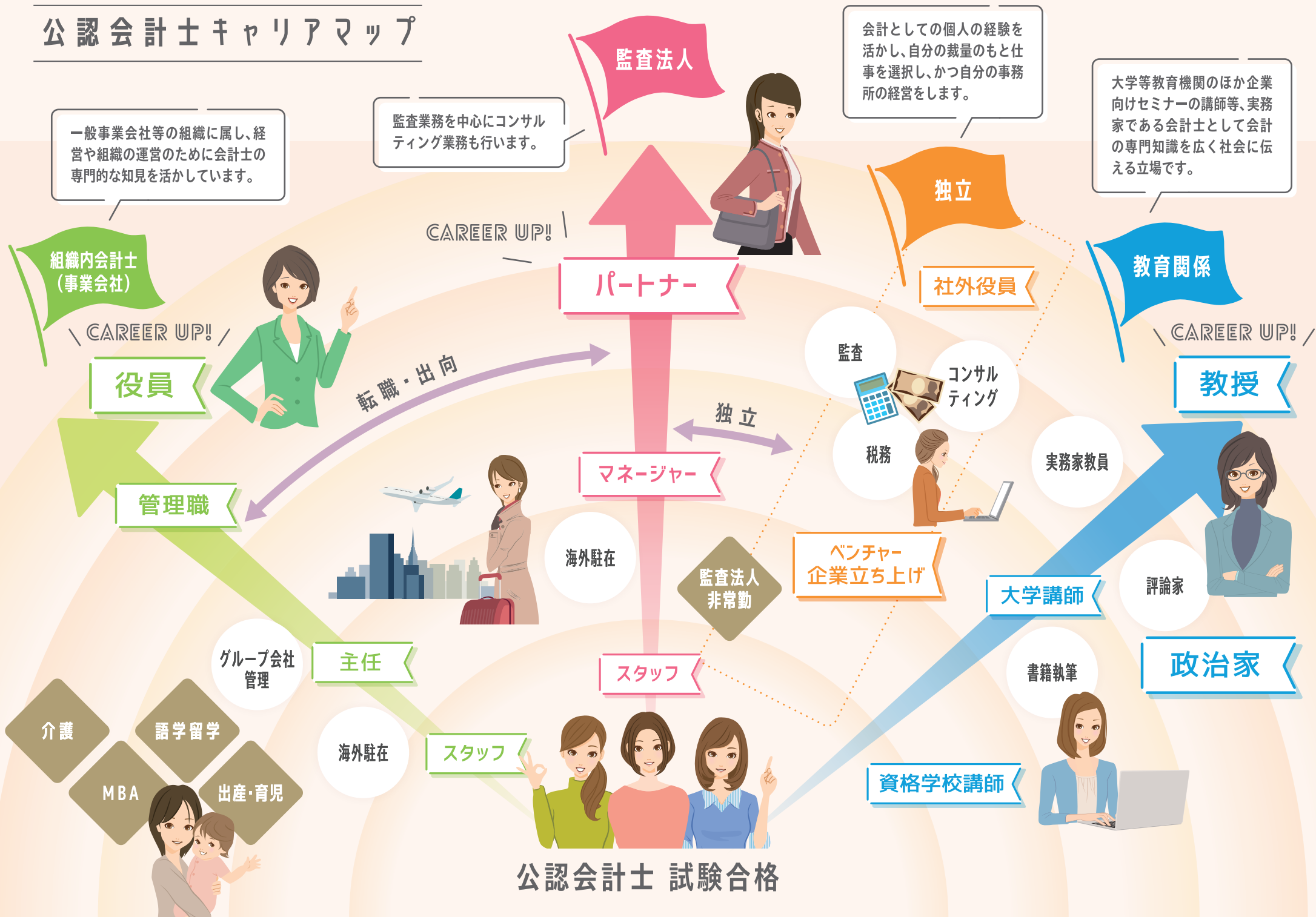


公認会計士キャリアマップ



事業会社で勤務する場合には以下のような職種が考えられます。

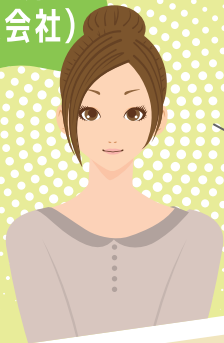
- ・ 経理、財務、IR
- ・ 内部統制、内部監査
- ・ 経営企画

またCFO(最高財務責任者)に就任する方もいます。

資格を活かして 組織に貢献!

事業会社以外にも、学校法人や公益法人、社会福祉法人、医療法人等の非営利法人でも活躍の場が広がってきています。

組織内会計士 (事業会社)



民間組織以外にも、金融庁、財務省、国税庁、経済産業省、内閣府といった中央省庁や、都道府県・市町村といった地方公共団体でも公認会計士は活躍しています。

その専門性を認められ有識者として各種の委員に就任される方もいます。また日本証券取引所やASBJ(財務会計基準機構)、日本公認会計士協会などで働く会計士も。

ライフ イベント

資格があるから、
柔軟に働ける♪

公認会計士は専門職。その専門性を高めるためMBA等の大学院進学、海外への語学留学、ダブルライセンスを目指し資格取得等の自己啓発によってより活躍の場を広げている方もたくさんいます。

会計士の働き方は、フルタイム職員以外にも非常勤職員としての勤務、非常勤役員、独立など多様な働き方が可能!

結婚・妊娠・出産・育児・介護等のライフスタイルの変化に合わせて、自分のペースで働けます。(非常勤でも比較的好条件での就労が可能です)



監査法人

監査を
極める!

公認会計士の独占業務であり基礎でもある監査業務ですが、監査といっても会社法監査、金商法監査、非営利法人監査、ファンド監査、地方自治体監査等、様々なものがあります。また監査で得た知識を活かし、IPO支援や各種コンサル業務にチャレンジすることも! 監査法人の運営や品質管理等の業務に従事する方もいます。



独立

夢のMY事務所!

資格を取ったからにはやっぱり独立したい! そんな思いを胸に自ら会計事務所を立ち上げる会計士も多いです。監査、記帳代行、コンサル等、様々な業務が待っています。

独立開業後軌道にのるまで監査法人で非常勤勤務を継続する選択肢もあります。

企業経営の意思決定に参画または監督する社外役員として非常勤の取締役や監査役に就任される方もいます。中には常勤で社外役員になれる方もいます。また非営利法人の理事や監事に就任されている方もたくさんいます。

会計事務所にとどまらず、ベンチャー企業を立ち上げ自ら経営に乗り出す人も!



公認会計士の資格があれば税理士や行政書士の登録も可能! 弁護士、不動産鑑定士、社会保険労務士などの資格を取得し、ダブルライセンスを武器に活躍している方も!

教育関係

書籍を出版したり大学で実務家教員となっている会計士もたくさんいます。中には評論家や政治家として活躍されている方も!

さらにはYouTuberやタレント活動、バーのマスターなんかも??



また違った道が拓けるかも!?